

# 伊方3号 工事認可

## 規制委審査、最終段階へ

原子力規制委員会は二十三日、四国電力伊方原発3号機（愛媛県伊方町）の設備の詳細設計をまとめた工事計画を認可した。審査は大詰めを迎えた。四国電は、再稼働前の最終手続きの使用前検査を速やかに申請する方針で、問題がなければ七月ごろ再稼働できる可能性が高くなった。再稼働した場合、新規制基準下で五基目。

規制委は二〇一三年、重大事故や地震、津波対策の強化などを求めた原発の新基準を策定し、伊方3号機は昨年七月、新基準を満たしているとして規制委の審査に適合。愛媛県と伊方町が既に再稼働に同意している。再稼働に向けた手続きとして運転管理体制をまとめた保安規定の認可が残った。



認可された工事計画は約四万七千で、事故時に対応拠点となる緊急時対策所や非常用ディーゼル発電機など約四百設備に上る。四国電は二十四日も、これらの設備や機器が十分な性能を有しているか現地で確認する使用前検査を規制委に申請する。検査には四力

月程度かかる見通しで、核燃料の装填などを経て、四国電は七月ごろの再稼働を目指す。

伊方原発をめぐるのは、広島、長崎の被爆者らが今月十一日、運転差し止めを求め提訴、一部の原告が3号機差し止めの仮処分も申し立てしており、司法判断が注目される。

規制委の審査に適合し再稼働した原発は、九州電力川内1、2号機（鹿児島県）、関西電力高浜3、4号機（福井県）の計四基。だが高浜2基は、大津地裁が今月、運転差し止めの仮処分を決定し、これが覆らない限り稼働できない状況になっている。

## シマウマ 悲しき大脱走 捕獲失敗、死ぬ



警察官から逃げ回るシマウマ。23日、岐阜県土岐市の名岐国際ゴルフ倶楽部で

マが道路を走っている」と二〇番があり、駆け付けた署員が土岐市内で発見。その後、ゴルフ場に逃げ込んだ。

## 柏崎刈羽 優先見直し 東電準備不足で長期化へ

原子力規制委員会は二十三日、東京電力福島第一原発と同じ沸騰水型でのモデルケースとして優先的に進めていた東電柏崎刈羽原発6、7号機（新潟県）の審査の在り方を見直す方針を決めた。耐震設計をめぐる東電の資料の準備不足が原因で、審査は長期化する見通しとなった。

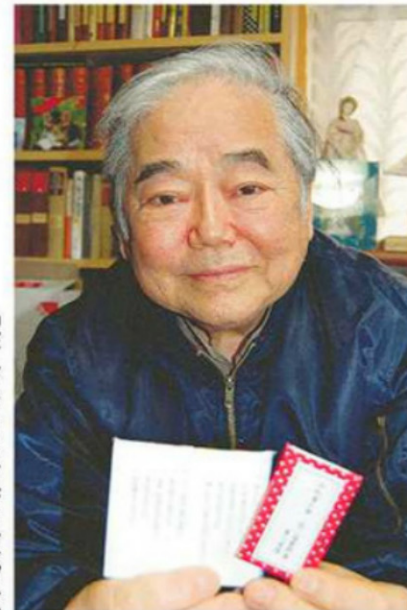
柏崎刈羽6、7号機の審査は最終段階に入っていたが、規制委は東電の準備が整うまで半年程度かかることとみており、審査終了が今秋以降にずれ込む可能性が出てきた。

柏崎刈羽6、7号機の再稼働は東電の経営再建の鍵とみられていただけに、審査の遅れは今後の東電の経営戦略にも大きく影響しそうだ。

原発の重大事故や地震、津波対策の強化などを求めた新基準に基づく審査では福島第一原発と異なる加圧水型の審査が先行しているが、規制委は沸騰水型の中で柏崎刈羽6、7号機を優先して審査を進めていた。

柏崎刈羽原発の基準地震動（耐震設計の目安となる地震の揺れ）は全国原発でも最大規模。東電は設備の耐震強度評価について従来と異なる手法を採用する

## 再稼働への怒りユーモアに変えて



「平和菌の歌」の豆本歌詞集を広げる佐々木さん。福島県南相馬市で

# ま 撒こう 平和菌の歌

〈原爆・原発 被った今も／懲りずに推進求めるアホは／ほんわか菌を浴びるがよろし…。東京電力福島第一原発事故から5年の春、原発時代に逆戻りするような時勢を風刺した歌が被災地で生まれた。その名も「平和菌の歌」。元東京純心大学教授の佐々木孝さん(76)＝福島県南相馬市原町区＝が詞を書き、友人の音楽家が曲をつけた。歌を広めようと歌詞集の豆本製作に励む。

「昨今のきな臭い政治状況に歯がゆい感じがするが、『平和菌』を散布する道が残されていると一念発起」。歌の誕生をユーモアたっぷりに語る佐々木さん。その日常は認知症の妻の介護とともにある。

原発事故が起きた五年前もそうだった。原発から二十キロの自宅は屋内退避指示が出され、周辺の住民が避難する中で、佐々木さんの一家はあえて自宅に残った。「不慣れた避難所に行ったら妻の体調が悪くなる」と考えたからだ。被ばくを恐れて支援のトラックも近づかなくなった町で高齢の母と長男夫婦、小さな孫娘の六人で耐え、自身のブログ「モノディアログ」で苦境を発信した。



その後、母親と息子夫婦、孫を県外に一時避難させたが、母親は避難先で亡くなった。悔しい思いは数え切れないが、佐々木さんにとって最も無残なのは、「変わってしまった日本が変わらなかったこと」だ。

「これだけの苦しみや被害を人々に与えたのに、原発は再稼働、再稼働でしょ」

「平和菌」は怒りがやまない佐々木さんが空想の中で培養する不思議な菌だ。振りかけると、もめごとや戦争は茶番劇に変わり、虚勢や威嚇は猿芝居になる。菌の効用を語った歌詞に元同僚のピアニスト、菅祥久さんが曲をつけた。

「平和菌」が閉じ込めら

## 南相馬の佐々木さん作詞「戦争も茶番劇に」

1 生まれは いずこか知らないけれど／その動きは いくつかは分かる／柳眉逆立つ不美人さえも／これをばたけば 楊貴妃に／ケセラパサラン、コモバサラン

2 そのわけ 何にも分からんけれど／誰にも効き目は じわりと分かる／争い、もめごと、戦争さえも／これを被（かぶ）れば 茶番劇／ケセラパサラン、コモバサラン

3 見た目は カビと変わらんけれど／漂う芳香 いくつかは気づく／虚勢や威嚇は ただそれ嗅ぐだけで／馬鹿（ばか）丸出しの 猿芝居／ケセラパサラン、コモバサラン

4 原爆・原発 被った今も／懲りずに推進求めるアホは／ほんわか菌を浴びるがよろし／まことの幸せ 見えてくる／ケセラパサラン、コモバサラン

5 飛ばそ 撒（ま）きましょ 平和の菌を／みごとと咲かせよ 心の園に／あなたと私の垣根を越えて／国境線さえ消してゆく／ケセラパサラン、コモバサラン

今では会話の足らなくなつて、平和の菌を／みごとと咲かせよ、心の園に／あなたと私の垣根を越えて／国境線さえ消してゆく／ケセラパサラン（どうなるのでしょう）、コモバサラン（なるようになるでしょう）

## 平和菌の歌・歌詞